

えんし 遠視

【遠視とは. . .】

目の前後の長さ（眼軸長）が短いのが遠視です。遠視の人は眼軸長が短いのでピントを合わせるために調節力をはたらかせて水晶体をふくらませますから、遠方を見ていても目が疲れます。近くを見る時には更に大きな調節力が必要で、よりいっそう疲れます。

子どもや若い人は調節力が強いので、軽い遠視ならば眼鏡をかけなくても遠くはよく見えますし、また疲れません。しかし中年になって調節力が衰えてくるとぼやけてみえるようになります。近くは、なおいっそうみづらいですから、早く老眼鏡を必要とするようになります。

子どもの遠視では、

①屈折性弱視、不同視性弱視

②調節性内斜視

が、問題となることがあります。

尚、当院では、これらの異常がないか必ずチェックしております。

日帰り白内障手術施設

眼科 中橋クリニック



7 5 2 - 8 8 1 8